

「高考移民」から見える中国教育面での格差

国際文化学部国際文化学科
3年 13011001 阿武美波

現在の中国における戸籍制度は都市部と農村部との間には格差が深刻化しており、国家的に重要な問題点となっている。前回のレポートでは中国社会の学歴重視の現状と、その現象がもたらす就職での所得格差について触れた。今回は、中国での大学進学において必要不可欠な試験「高考」でみられる都市部と農村部での教育格差について以下の三点にまとめて考察していきたい。

- 1、中国の戸籍制度と教育制度の関係について
- 2、「高考移民」について
- 3、「高考移民」がもたらす影響とその対策について

1、中国の戸籍制度と教育制度の関係について

1958年1月9日に施行された「中華人民共和国戸籍登記条例」では、中国国民の戸籍を農業戸籍と非農業戸籍とに明確に区分し、人口の自由流動を厳格に制限するように定められている。この戸籍制度は中国の教育面においても大きな影響を及ぼした。

一つ目は、選択する学校の質が戸籍によって大きく変わってくることである。中国の「義務教育法」では児童を近くの学校に入学させることが定められている。つまり、戸籍所在地または現住地の適切な学校に通わせるということである。この制度は日本にも存在するが、中国の場合は高等学校だけではなく、小学校・中学校でも都市部と農村部では学校の教育施設や教員の数が大きく違うため、通わせる学校の条件が各自不平等という事態が発生する。

では、なぜ都市部と農村部での学校にこのような格差が発生するのか。それは投資される教育経費の分配に原因がある。教育への投資は一般的に中国政府と地方政府が行う。しかし、教育経費の分配が中国政府は重点である都市に多額を投資し、省や市といった地方政府も重点である学校に多額を投資する。重視される学校は一般的に都市部に位置する学校であり、農村部にある学校が得られる教育経費はとても少ない^(注1)。中国社会科学院の調査によると、2002年の各自教育への投資額は、約5800億元である。しかしその額の約77%は人口の40%にも満たない都市部へ投資されている。人口の60%以上がいる農村部への教育投資はたったの23%であった^(注2)。このように、教育への投資額の分配が都市部と農村部では大きく異なるため、必然的に学校の教育施設や教員数といった部分に差が出てくるのである。農業戸籍の子どもは近くの学校の教育設備があまり良くなくても、ほかの

学校を選択することができない状況なのである。

二つ目は、大学受験の「高考」において各地方によって合格ラインが異なるということである^(注 3)。大学は各省ごとに募集定員を配分するため、高考の合格ラインは省によって違う。また、地元の大学は地元の学生に対し、他の地区より多くの入学定員を割り当てる。このようなケースの場合、地元の合格ラインは他の地区より低く設定されることになる。また、内モンゴル、海南省などの少数民族がいる省なども合格ラインは他の省よりも低く設定される。中国の場合は、北京などの大都市のほうが教育環境も整っており全国から多くの学生が行きたがるが、地方の小中高教育との差が大きかったり、地元北京よりも募集定員が少なかったりして、地方の学生が都市部の大学に行きレベルが高い教育を受けることがとても難しい。

このように、人口流動を抑制するために施行された戸籍制度が現在の教育制度にも大きく関係し、それが都市部と地方の教育格差を産みだす原因にもなっている。

2、「高考移民」について

現代の中国社会の問題で「高考移民」というものがある。これは、先ほどの1で述べた各省によって高考の合格ラインが違うシステムを利用したものである。「高考移民」は高考で合格点を取り自分の戸籍を、大学に合格するために合格ラインが低い省、または行きたい大学がある省に移し、その省で高考を受けるというものである。現在では「高考移民」は法律によって禁止されているが、未だに「高考移民」は毎年現れる。2016年1月29日にウイグル自治区で13名の大学生が「高考移民」として退学・学籍の取り消しなどという法的処分がされたというニュースが報道されてる。ウイグル自治区などの少数民族がいる省は特に「高考移民」問題には悩まされている。なぜなら、自治区ということでの大学を受けるにも高考の合格ラインが低く設定してあり、自分の成績に自身がない受験生が目的の大学に合格するために移動してくる事例が絶えないからである。

3、「高考移民」がもたらす影響とその対策について

現在では「高考移民」に対して厳しい処分がなされるが、このような対策だけでは「高考移民」の存在がなくなれないということがわかった。そして、この問題には各省で高考の合格ラインが異なるというシステムからくることがわかった。このシステムをなくし、全省の合格ラインを統一するべきだと思うが、これを実行するには都市部と農村部の教育の環境、質を同等にしないといけない。これらは中国社会に根付いている戸籍制度と深い関係がある。しかし、この戸籍制度はすぐに撤廃することができるほど、簡単なものではない。そのため、少しでも都市部と農村部の教育格差をなくすためには、政府は農村部への投資・支援をもっと十分なものにすべきである。現代の政府の各地域への教育投資

の状態を見てみると、国民からの需要と政府の供給との間に深い溝があることがわかった。まずは、農村部の教育環境への深い理解とこの問題に対して迅速な解決策を行わなければいけない。

以上の 3 点の考察で「高考移民」の存在を通して中国社会の教育面での格差の原因について深く理解することができた。中国の戸籍制度は都市部と農村部の格差への理解において重要なポイントになっていくが、この問題を解決するのはなかなか出来ないということも理解している。しかし、それ以外の政府の農村部への対応をみると、改善すべきと思う点がたくさん出てくる。特に、現在の中国学歴社会の現状を踏まえると、都市部と農村部の教育環境の格差はすぐに対応しないといけない問題である。そうでなければ、収拾がつかない状態にまで都市部と農村部との格差が広がってしまうからである。これから、この格差において政府がどのような対策をとっていかを注目し続けたい。

[注]

1、2、百度文库 浅析中国城乡教育的差距 (2016.1.30 閲覧)

<http://wenku.baidu.com/link?url=Da4qwTaTD9FVzak3owrpiOELl1X6AoHLQ6mFhSjPEqAav8Mdqo14aLod-brtkKet1OB1mXAO7osA87fX2mECSKFORONnWGciYKzvePt9Yc3> (2016.1.30 閲覧)

3、中国における農村教育の発展とその課題 蘇于君

www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81002808.pdf (2016.1.30 閲覧)

参考文献

1、百度文库 农村和城市教育的差距原因及对策

http://wenku.baidu.com/link?url=Rs9NIPRTA7UyTzLiu53_0YzdGK0xgQpM-FuYqcyldqCyv5_mcuOhvO1g34y_XLjWtJqc0B7mCCaNPcnQfnOgY8blELFNDVWrcGiJ38PW9oS (2016.1.30 閲覧)

2、中国教育新闻网 教育调查：从发展指数看我国农村教育亮点与差距

http://www.jyb.cn/china/gnxw/201412/t20141215_607411.html (2016.1.30 閲覧)

3、CNN.co.jp 上海はトップ、しかし農村部は・・・ 中国教育格差の現状

<http://www.cnn.co.jp/world/35042895.html> (2016.1.30 閲覧)